

## 早期発見・早期治療が大切

犬の骨関節炎は加齢とともに進行していく可能性のある疾患ですが、早期に発見して適切な治療等を開始することで、病気の進行を遅らせることができます。早期発見・早期治療のため中面のチェックリストで愛犬の症状をチェックしましょう。普段の生活の中で気になる愛犬のしぐさが、実は病気のサインかもしれません。

ご家族のみなさんが愛犬の異変に気づく



動物病院で受診

- \*歩き方・関節の動き・痛みの有無などの確認
- \*必要に応じてレントゲン検査



獣医師の指導のもと、適切な治療

(早期発見の場合は、薬のみで改善することも可能)

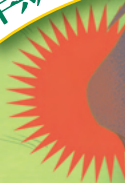
## 犬の骨関節炎

チェックリストつき

# 気付いていますか？ 大切な愛犬の「痛い！」

監修 / 日本獣医生命科学大学 獣医外科学研究室准教授 原田恭治

早期発見！



携帯・スマートフォンから  
骨関節炎の動画がご覧  
いただけます。▶▶▶▶▶▶



2939AH  
HAB

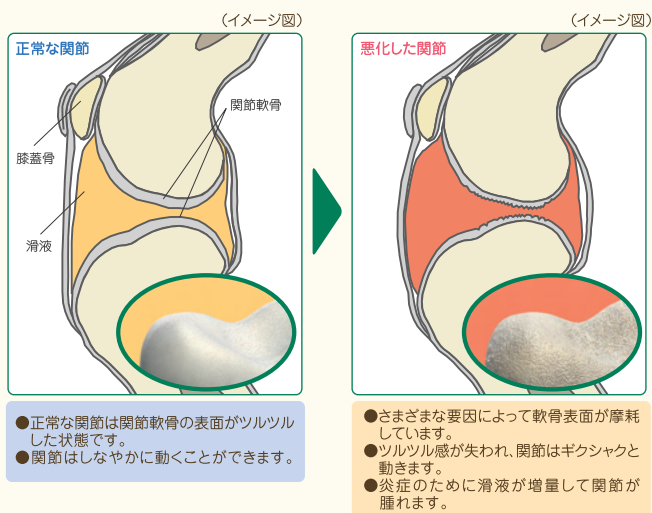
住友ファーマアニマルヘルス

# 犬の骨関節炎の治療について

ペットオーナー様へ

## 犬の骨関節炎とは

関節の軟骨に障害が起これ、その進行・悪化によって慢性的な痛みをもたらす疾患です。適切な治療により、関節軟骨の修復をしたり、悪化を遅らせ、痛みを和らげることもできます。



## 骨関節炎の治療・管理

骨関節炎の治療には、注射療法、食事療法、対症療法、運動療法等があります。

骨関節炎の症状を緩和するために、これらをバランスよく組み合わせ合わせた治療が必要となってきます。

### 注射療法

毎週1回×4週の注射で関節軟骨の修復を助ける薬があります。

### 食事療法

関節・体重管理に配慮した特別療法食等

### 対症療法

症例によっては鎮痛・消炎薬

### 運動療法

適度な運動により関節の可動域を広げ、筋肉を増強します。

## 骨関節炎チェックリスト

下記の項目の中で、あなたの愛犬に当てはまるのは？



しばしば



ときどき



全くない

- |                           |  |  |  |
|---------------------------|--|--|--|
| ① 寝た状態から起き上がる時、歩きにくそうにする  |  |  |  |
| ② 車の乗り降りを嫌がる              |  |  |  |
| ③ 散歩時に、腰の揺れが大きく見える        |  |  |  |
| ④ 遊んでいる時に奇声を発し、歩き方がおかしくなる |  |  |  |
| ⑤ 散歩時に急に歩くのを止めるようになる      |  |  |  |
| ⑥ 歩行時に脚を上げたまま地に付けない       |  |  |  |
| ⑦ 階段の昇り降りを嫌がる             |  |  |  |
| ⑧ 脚を引きずるような歩き方をする         |  |  |  |
| ⑨ 散歩を嫌がる                  |  |  |  |
| ⑩ 脚や身体をさわると嫌がる            |  |  |  |

ひとつでも当てはまるのであればこのリーフレットを持参してお気軽に当院にご相談ください。



ワンちゃんは痛くても痛いと言えません。ご家族のみなさんが気づいてあげることが重要です。また骨関節炎に似た症状でもそれ以外の疾患の場合もありますので、おかしいなと感じたらすぐに獣医師にご相談ください。